

JP1ソリューション ラインアップ

カテゴリ	No	ソリューション名・課題
導入	-	JP1導入ソリューション
		JP1を活用した運用管理システムを確実に導入できるか心配だ。
		JP1の最新バージョンや新製品は、導入作業の経験がないから、よくわからない。
		JP1の複数製品を導入したいが、全製品対応できる技術者の確保が難しい。
	1-03	JP1バージョンアップソリューション
		業務システムへの影響を最小限に抑えて、既存のJP1製品をバージョンアップしたい。
		システム更改(ハードウェアリプレース)に伴うJP1のバージョンアップをスムーズに行いたい。 JP1をバージョンアップしたいが度重なるシステム変更発生により現在の設定値がよくわからなくなってしまった。
	1-04	JP1ジョブ管理ディザスタリカバリ構築ソリューション with Double-Take
		ジョブ運用に関するデータを遠隔拠点にて保全していないため、大規模災害時に業務再開まで時間がかかる。 JP1/AJS3のディザスタリカバリ対応を検討しているが、ストレージの導入までコストをかけられない。
	-	JP1高可用性ソリューション
		物理、仮想、クラウドなどさまざまな環境において、システム障害から復旧までの時間を短くしたい。 JP1製品をオンプレからクラウドへ移行したいが、オンプレと同等の可用性をクラウド環境でも確保したい。
	1-06 1-07	JP1 IT運用自動化ソリューション
		承認を得てから自動化する操作を実行したい。 GUI操作が含まれるため、完全自動化ができない。
1-09	JP1運用ナビゲーション コンテンツ作成支援ソリューション	
	運用ナビゲーション製品の導入に際して、既存の手順書が多く、実現までに時間がかかり過ぎる。	
	運用ナビゲーション製品の導入経験がなく、スキルの不安がある。 オペレーターの作業効率を向上し、関連システムの操作もスムーズにしたい。	
A13	JP1クラウド移行ソリューション	
	オンプレミスからMicrosoft Azureへ、JP1をスムーズに移行したい	
運用	2-01 B01-01 2-04	JP1ジョブ管理快適運用ソリューション
		ジョブ運用の問題・課題を解決したい。また、ジョブの遅延発生は精密検査を実施し、対策を講じたい。
		ジョブの稼働・操作状況のレポートを、ほしいときに入手したい。
		なぜジョブがスケジュール通りに実行されていないのか、その原因を知りたい。 クラウドリフトした後の環境も、変わらないJP1運用を実施したい。
	2-05	テレワーク向けセキュリティ点検ソリューション
		効果的にテレワークで利用しているPCのセキュリティ点検を実施したい。
		オフィス内のPCと同等のセキュリティを確保したい。 テレワークで利用しているPCのセキュリティに何から着手すべきかわからない。
	2-06	労働時間見える化ソリューション ～ JP1/IT Desktop Management 2 の利用 ～
		従業員の労働時間を正確に把握できない。
		労働時間増加の要因となる作業を把握できない。 無意識に増加している作業の把握が難しい。
	2-07	RPA対象業務選定支援ソリューション
		業務の効率化に向けて自動化できる作業の判断が難しい。
		自動化に向けた作業内容のヒアリングは負担が大きい。 テレワークの業務実態を把握し、適切な施策により効率化を図りたい。

カテゴリ	No	ソリューション名・課題
移行	3-01 3-04	JP1ジョブ管理移行ソリューション
		現在使用しているJP1以外のジョブ管理製品をJP1に移行したい。
		現在利用しているジョブ管理製品のジョブ定義をJP1の定義に変換したい。 移行のタイミングで、クラウド環境でジョブ運用を実施したい。
	3-02	JP1システム監視移行ソリューション
		現在使用しているJP1以外のシステム監視製品をJP1に移行したい。
		現在使用しているJP1以外のシステム監視製品とJP1との監視可能な項目の違いを知りたい。 JP1のシステム監視製品に移行したいが、JP1製品について知識・ノウハウがない。
	3-03	JP1資産管理移行ソリューション
		現在使用しているJP1以外の資産管理製品をJP1に移行したい。 資産管理製品の移行に関して、必要となる作業や、事前に検討すべき事項がわからない。
	連携	4-02
Hadoopの稼働状況をJP1で確実に収集しておきたい。		
Hadoopの障害監視をJP1を活用して統合的に実施したい。 データの収集から分析まで一連の業務をJP1を活用して自動化したい。		
4-03		JP1連携ソリューション for Splunk
		ハードウェア・ソフトウェアの管理やセキュリティ対策など、IT資産の運用に、多くの手間とコストがかかっている。
		情報漏洩やウイルス感染などのトラブルが発生した際に、過去の操作ログがないため、原因究明ができない。 IT資産への操作内容について分析・レポートを行いたいが、何から検討すれば良いかわからない。
4-04		JP1連携ソリューション for AppDynamics
		ユーザーからのサービスへの問い合わせが止まらない。
		システム障害発生時、障害箇所の特定や原因特定に工数がかかっている。 サービスに潜在的な問題があることに気づいてはいるが、原因が分からない。
-		JP1連携ソリューション for ServiceNow
		ユーザーからの問い合わせや情報システムで発生した事象を一元管理し、新たな問い合わせや障害時に迅速に対応したい。 拠点毎やシステム毎に異なる運用プロセスを統制して、サービスレベルを維持したい。
4-07		JP1連携ソリューション for Robotic Process Automation
		データの読み込みからシステム入力まで、全ての事務処理を自動化し、作業効率と作業品質の向上を図りたい。 Robotic Process Automationで自動化した業務で問題発生時に、原因究明と復旧を素早く行い、信頼性の維持・向上を図りたい。

※図や本文中では略称にて記載しております。

<略称一覧>

- ・JP1/AJS3:JP1/Automatic Job Management System 3
- ・JP1/PFM:JP1/Performance Management
- ・RPA:Robotic Process Automation

※JP1は、株式会社日立製作所の日本における商品名称(商標又は、登録商標)です。

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。

※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

 株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報
www.hitachi-solutions.co.jp/jp1/sp/

2023.10

